

# 学校だより



## 特別号

E-mail : [syoran-s@edu.city.kyoto.jp](mailto:syoran-s@edu.city.kyoto.jp)

平成29年3月17日

京都市立翔鸞小学校

校長 谷口 寿一

Tel:075-462-0084

Fax:075-462-0086

### 第2回学校評価へのご協力、ありがとうございました

毎日春の息吹を感じる今日この頃です。

平素は本校教育にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。また、1月末にはお忙しい中、2回目の学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。前期にご紹介した項目について後期も掲載し、一緒に考えていきたいと思います。多くの皆様からのご意見を大切にし、今年度の取組のまとめと来年度への課題を明らかにして、今後の翔鸞教育に生かしてまいります。どうぞよろしくお願いします。

◎よくあてはまる ○どちらかといえばあてはまる △どちらかといえばあてはまらない ×あてはまらない  
◎と○の結果を「達成している」項目と考えて、考察と改善策を考えています。

#### <確かな学力>

評価項目		児童	保護者	教職員
子どもが、人の話を聞くこと	前期	93.6%	74.3%	80.5%
	後期	92.2%	75.0%	76.2%
子どもが分かりやすい授業であること	前期	89.8%	82.9%	87.8%
	後期	89.9%	90.0%	85.8%
子どもが、自分の思いや考えを書いたり話したりすること	前期	77.6%	66.7%	51.2%
	後期	73.5%	65.1%	60.0%
子どもが、1か月に5冊以上本を読むこと	前期	71.2%	40.0%	39.0%
	後期	71.6%	42.9%	42.9%
子どもが、毎日決めた時間に家庭学習に取り組むこと	前期	66.4%	58.5%	26.8%
	後期	68.1%	65.9%	42.9%



#### ◆考察と改善策

- 「自分の考えや思いを書いたり発表したりすること」については、進んでできる子となかなかできない子に分かれてしまっているところがあります。授業の中で自分の考えを書いたり話したりして説明することに慣れるよう、発表ヒントカードを用意したり、リレー発表、ペアやグループでの学習を取り入れたりしていますが、これからも継続していくことで、子ども達に自信を持たせたいと思います。また、必要に応じて、個別の支援も更に工夫していきます。
- 家庭学習については、子ども達が自分の予定に応じた時間を決めているのですが、なかなか取り組めていないようです。中・高学年では、1週間の放課後の過ごし方に応じて家庭学習の時間を考え、週の予定表に記入させるなど、自分で時間の使い方が管理できるような支援を取り入れていきます。
- 読書については、学校で設定された時間にはするが、まだまだ自主的には取り組めていない児童が多いようです。今後も引き続き学校図書館や学級文庫の内容を充実させるとともに、学年の発達段階に応じて読書ノートの活用やブックトークなど、読書に興味が持てるような取組をしていきます。

#### <豊かな心>

評価項目		児童	保護者	教職員
子どもが、進んであいさつすること	前期	95.0%	77.1%	68.3%
	後期	94.5%	78.7%	63.6%
子どもが、自分も友達も大切にすること	前期	96.8%	93.4%	92.6%
	後期	97.7%	94.8%	95.2%
子どもが、学校で楽しく過ごすこと	前期	96.8%	93.8%	95.1%
	後期	95.9%	94.4%	95.2%
子どもが、きまりや約束を守ること	前期	93.6%	80.0%	69.3%
	後期	91.3%	82.0%	81.8%



## ◆考察と改善策

「進んであいさつをすること」については、朝の正門前ではできていますが、他の場所ではなかなか自分からすすんであいさつができない児童がいます。また、友達や教職員にはできても、地域や保護者の方、来客にあいさつができないこともあります。学校では、登校時正門前に見守り隊の方や教員が立ってあいさつをしています。また、児童会が中心になって「あいさつ運動」を実施しています。その中で、正門前だけではなく、他の色々な場所に立ってあいさつをしたり、「君の名は」と題して、一人ずつ名前を呼んであいさつをしたりするなど、様々な工夫をしてくれています。今後も、子ども達が気持ちよくあいさつができるような取組を続けていきます。ご家庭でも、お声かけください。

・「きまりや約束を守ること」については、児童・保護者・教職員のほとんどができていると評価しています。しかし、校内の遊んではいけない所で遊んだり、走ってはいけない所で勢いよく走ったりしている児童もいて、危ない時もあります。なぜここで遊んだり走ったりしてはいけないのかを考えられるよう、今後も折に触れて指導をしていきます。

## <健やかな体・学校独自の取組>

評価項目		児童	保護者	教職員
子どもが、毎日朝食を食べること	前期	95.9%	96.2%	90.3%
	後期	95.5%	94.8%	76.1%
子どもが、早寝・早起きをすること	前期	71.5%	64.1%	65.9%
	後期	71.8%	60.6%	38.1%
子どもが、安全に気をつけて 登下校すること	前期	95.9%	96.7%	90.3%
	後期	96.9%	98.1%	86.3%
子どもが、危ない遊びをしないこと	前期	94.5%	97.2%	75.6%
	後期	96.3%	95.7%	90.4%
地域や保護者と協力して 子ども達の安全を見守ること	前期		95.2%	100%
	後期		93.8%	95.4



## ◆考察と改善策

- ・朝食については、毎日食べて登校している児童が多いです。子ども達が食べやすい量や内容を工夫していただいているからだと思います。朝食は、一日のスタートを切る上でとても大切です。今後ともよろしくお願ひします。
- ・早寝・早起きについては、毎回「できている」の評価が低いです。睡眠は、とても大切です。睡眠によって昼間の疲れがとれますし、成長期の子ども達は、寝ている間に成長ホルモンが出て体がしっかりとつくられています。今後も、睡眠時間の大切にするよう、身体の成長など健康面から、そして、気持ちの安定など精神面からも指導を続けていきます。ご家庭でも、テレビやDVDの視聴時間や、スマートフォンを使ったりゲームをしたりする時間などについてお子さんとお話をいただき、家庭学習や読書なども含め、家庭での時間の使い方について一緒に考えていただければありがたいです。
- ・「安全を見守ること」については、毎年、保護者・教職員ともに高い評価が出ています。今後も、地域の皆様のご協力をいただきながら、子ども達の安全をしっかりと見守っていきます。

\*教職員の評価が低くなっている部分があるのは、担任以外の教職員が「わからない」を選んだ項目が多くなってしまったためです。

## 《学校運営協議会委員の皆様からのご意見》

- 登下校時の安全、放課後の安全について、子ども達にしっかりと教えていきたい。また、保護者の方も、子ども達の様子をしっかりと見てほしい。
  - ・信号が青になんしても、交差点を右折・左折してくる車があるので安全ではない。すぐに渡り出すのではなく、左右の安全を確かめてから渡るようにしてほしい。
  - ・歩道の外側ぎりぎりのところや、縁石の上を歩く子がいる。車道に出ることもあり、大変危ない。
  - ・見守り隊が立っている登下校時はまだ気をつけているが、放課後に公園に遊びに来る時などは、路側帯から出て広がって歩いたり、細い道から飛び出したりするなど、危ない歩き方や渡り方をしていることが多い。
  - ・放課後、子ども達が自転車に乗っている様子を見ていると、一旦停止をせずに細い道から飛び出したり曲がったりしているので、大変危ない。
- 小学生の子どもを自転車の後ろに乗せているところを見かけるが、乗せてもよいのは6歳未満なので、保護者の方も交通ルールを守ってほしい。

## 自由記述欄に寄せられたご意見から（内容をご紹介します）

### ○学習・生活について

- ・あいさつ運動のおかげで、地域の方にも進んであいさつできるようになりました。
- ・あいさつ運動をしている子ども達の元気な声は、とてもいいですね。こっちまで頑張ろう！って思えるようになります。最近は、「〇〇さん、おはようございます。」と、名前まで呼んでいて、少人数ならではの良さを実感しております。
- ・子どもには、生活の基本のことを身につけることが大切だと思っています。学校が取り組んでくださっていることと家でのしつけで、子ども達にはしっかり基盤をつくって（身につけて）いってほしいと思います。あいさつ、人の話を聞くこと、返事など、家でもしっかり話していこうと思っています。

\*ありがとうございます。上記の〈豊かな心〉でも書かせていただきましたように、正門前で児童会を中心とした子ども達があいさつ運動を続けてくれていますし、見守り隊の方や教職員もあいさつをしています。何年も前から継続している取組です。自分からあいさつができない子も、声が小さくてなかなか聞こえない子も、「おはようございます。」と毎日声をかけてもらうことで、少しずつ声が出るようになったり、自分からあいさつができるようになってきたりしています。ご家庭でも、意識して「おはよう」「いってらっしゃい」「いってきます」「ただいま」「おかえり」「いただきます」「ごちそうさま」などのあいさつを、お子さんと交わしていただければと思います。

- ・子どもが授業についていけない時、放課後を利用して教えてもらうようになってから、学習意欲がわき、積極的に取り組むようになりました。
- ・授業がわかりやすいと、子どもが言っています。
- ・学年が上がるにつれ、勉強がついていけないようです。授業の区切りで、理解できていない子どもを集めて補習的なものをしていただけたらいいのになと思います。

\*本校では、平成25年度から算数科の校内研究を中心に、具体物を使用したり視覚支援になる掲示物を用意したりするなど、子ども達が興味をもって積極的に学習に取り組めるよう、授業改善に取り組んできました。そして、学年や担任が替わっても安心して学習できるように、ノート指導の仕方や板書の仕方を、基本的に統一してきました。また、個別に支援が必要な児童への支援の仕方も工夫してきました。高学年になると6時間授業が増え、部活動もあって放課後の時間が少なくなってしまいます。子ども達が授業の中で理解できるよう、そして、意欲をもって学習していくよう、取組を進めてまいります。学習内容が理解できていないと、勉強が楽しくなくなります。「分からぬ」を「分かった」「できた」に変えられるよう、これからも教材研究を重ね、子ども達に寄り添っていきたいと思います。お子さんの学習の様子をご覧になってご心配なことがありましたら、いつでも担任までご相談ください。

### ○PTA・地域について

- ・地域の方のご協力のおかげで、学校生活がとても豊かになっていると感じます。
- ・この地域では、保護者や地域住民の方々と学校で、子ども達の見守りがよくできていると思います。
- ・先生や地域の方々、PTA本部・役員の方々のおかげで、学校・地域行事を子ども達が楽しめています。
- ・朝、寒い中でも笑顔で送り出してくださる見守り隊の方々には、本当に感謝しています。
- ・近所付き合いが希薄になってきている中、子ども達が学校に通っているのをきっかけに近所付き合いや地域との関わりをもつ事で、必然的に子ども達を見守る事になると思います。

\*毎回、地域の方々への感謝の言葉をたくさん書いていただいている。登下校や集団下校時の安全の見守り、生活科や社会科、総合的な学習の時間での学習支援、部活動の指導、図書ボランティア活動、放課後まなび教室の指導など、本当にたくさんの支援をいただいている。また、休日にはたくさんの行事を計画して子ども達を楽しませてくれています。これからも、地域の方々にご協力を願いながら、保護者の方と学校とが協力して子ども達の安全を守り、豊かな生活ができるよう取り組んでいきたいと思います。

### ○アンケートについて

- ・毎回同じアンケートに答えるのはしんどいです。
- ・アンケート結果をもとに何か改善されたことがあれば、報告してくださるとわかりやすいと思います。

\*毎回同じアンケート、本当に申し訳ありません。少しずつ項目は改訂しているのですが、同じ内容のことについてお答えいただくことで、学校として取り組めているところや、力を入れていかねばならないところが分かってきます。もちろん、それは学校だけでできることではなく、保護者の方と協力して進めていかねばならないこともあります。また、アンケート結果をもとに改善したことについては、アンケートの数字だけを見て改善しているということではないのですが、アンケート結果を見て客観的に分かったことがあります、その点について取り組んでいます。

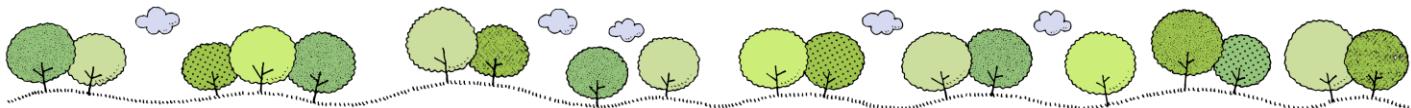
・研究の中でも取り組んでいる「自分の思いや考えを書いたり話したりする」力が十分についていないと評価されています。その点について、グループ活動やペア学習等、授業の中で児童が発言をする場をより多く取り入れるようにしました。また、ノート指導を工夫し、今までの学習を振り返って考えられるようなノートを目指しています。まだ十分満足できるような成果は出ていませんが、既習の内容を基に自分の考えを書いたり、みんなの前に説明しようとしたりする児童が増えています。

・「分かりやすい授業」については高い評価をいただいていますが、全ての児童が理解できるような授業を目指して、研究を進めています。「めあて」と「まとめ」を対応させ、できるだけ操作活動や意見交流の時間をとって、問題解決型の授業を組み立てたり、全校で基本的な授業展開の仕方や板書の仕方を統一し、学年や担任が替わっても児童が安心して授業をうけられるようにしたりしています。

・読書習慣がまだついていない児童が多いので、自分の机に「本バック」をかけて、いつでも読みかけの本を手に取れるようにしたり、下校時教室を出る時に次の日の朝読書で読む本を机上に置き、すぐに読書ができるようになります。また、100冊読書を達成した児童は、図書委員会が名前カードを貼り出したり、校長室で学校長が読書ノートにシールを貼ったりして、達成感が味わえるように取り組んでいます。

・あいさつが進んでできる児童を育てるために、児童会が中心になってあいさつ運動を工夫したり、教職員が登校時に正門前に立って児童を迎えていたりしています。見守り隊の方にも声をかけていただき、少しずつあいさつができるようになってきています。

保護者の皆様からのご意見を一部ご紹介いたしました。いただいたご意見を真摯に受け止めて、一つ一つのことに向き合いながら、保護者の方と共に、子ども達がより楽しく学校生活を送り、しっかりと学力をつけていけるよう取り組んでいきます。学校生活についてのご心配などがありましたら、連絡帳などでご遠慮なくお知らせください。また、子ども達の頑張りも教えていただければうれしいです。そして、参観日や懇談会にも足を運んでいただき、学校の様子も見ていただけたらと思います。学校からも、たくさんの情報を発信していきます。今後も、保護者の皆様と協力して子ども達を育てていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。



## 《お知らせ》

今年度も、子ども達の安全の見守りや学習の支援等で、たくさんの地域の皆様にご協力をいただきました。  
その様子を掲載した「翔鶴コミュニティだより」を、地域委員様を通じて回覧させていただきました。

- ・社会科や生活科の学習で子ども達が校区たんけんをする時に、安全面の見守りをしていただいたり、安全に関わる設備について教えていただいたりしました。
- ・社会科や生活科の学習で、昔の道具の使い方や昔遊びの仕方を教えていただきました。
- ・葉牡丹や野菜等の栽培活動の時に、世話を仕方を教えていただいたり、手伝っていただいたりしました。
- ・各教室で、子ども達に本の読み聞かせをしていただいたり、図書室の本の整理をしていただいたりしました。
- ・子ども達の登下校の時に、通学路に立って、子ども達の安全を見守っていただきました。
- ・毎月第1日曜日の朝、校内の清掃や整備をしていただきました。

「翔鶴コミュニティだより」をご覧いただき、少しでもお力を貸していただけそうなことがありましたら、是非、学校までお声かけください。よろしくお願いいたします。

**地域とともにある 学校づくりをめざして**